

備前市事務事業評価表

事務事業名	地域公民館管理事業（吉永）		コード	03-02-04-03
			担当課・係	吉永地域公民館
			担当者	小原龍子
			電話	84-3839
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり		
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり		
	小項目(施策)	公民館		

事業について	
目的 (何のために)	生涯学習・文化活動の拠点とし、市民の学習ニーズに対応するための学習の機会と場所の提供を行うため、施設の保守維持管理を行う。
対象 (誰・何を対象に)	市内在住のすべての住民、市内事業所の勤務している人及び公民館を利用する人
内容	各種文化事業・定期講座・その他公共的な催しの利用等に対する貸館業務、施設の保守・維持管理

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
貸館利用者数	12,217 人	18,549 人	
生涯学習団体利用者数	7,010 人	7,754 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,601	間接補助金等		直接事業費	7,229	間接補助金等	
	人件費	2,325	委託費負担	694	人件費	3,657	委託費負担	629
	市債			市債				
合計	10,926	一般財源等	10,232	合計	10,886	一般財源等	10,257	
							0	

必要人員	0.45 人	0.72 人	
結果指標名	貸館利用者数	貸館利用者数	
結果指標量	12,217	18,549	
単位	人	人	
対前年比	-	151.83%	0.00%
活動にかかるコスト	10,926,000 円	10,886,000 円	
単位当たりコスト	937 円	587 円	
結果指標名	生涯学習団体利用者数	生涯学習団体利用者数	
結果指標量	7,010	7,764	
単位	人	人	
対前年比	-	110.76%	0.00%
活動にかかるコスト	10,926,000 円	10,886,000 円	
単位当たりコスト	1,468 円	1,402 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	生涯学習・文化活動の拠点とし、場所の提供を行うため、施設の保守維持管理を行う。		
成果指標名	生涯学習団体利用者数	式又は説明	吉永地域公民館での、生涯学習団体などの自主活動団体の利用者数
	17年度	18年度	
成果指標量	7,010	7,754	
対前年比	-	110.61%	0.00%
到達目標値	8,000	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/> )	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	生涯学習・文化活動の拠点として場所の提供を行っており、貸館としても民間教育団体が使用するなど、幅広く利用されている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である		
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である			
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	施設の使用料については、市内生涯学習団体においては、免除しているが、冷暖房料は利用者負担としている。このため、利用者も冷暖房を節約するなど効果が表れている。また、夜間管理を総合支所直直が行っているが、利用者の利便性、管理面から言えば、管理人を置くべきと考える。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	主催講座等で、学習された方を自主グループ指導者（世話人）として育成し、生涯学習団体の利用の増加を図る。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度状況		説明		
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している			
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	新規講座を開設し、講座生の増加を図っているところである。		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している				
目標値	結果指標量	1,900人	結果指標量	8,000人
	成果指標量	1,900人		

総合評価	施設の安全管理、利用者の利便性からも、夜間管理を配置すべきであると考えられる。また、冷暖房が全館一括管理となっているため、コスト削減のため、各部屋ごとの空調管理が望まれる。	評価区分 <A~E>	C
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	講座等の開設	平成20年度	生涯学習団体利用者数増加